



## 技術評価シート（フィールドワーク）の評価基準

一般財団法人全日本野球協会  
アマチュア野球規則委員会

項 目	判定	評 価 基 準
1 塁塁審の フォースプレイ	a	①野手が送球するときには、ベースに正体してスタンディングで止まっていて、ベースとの距離、角度が適切である ----- ②2 塁ゴロのときは、リードステップができています ----- ③適切なタイミングでボールから目を離し、セットポジションでプレイを待ち受けている ----- ④ダブルプレイのときは、すばやく適切なポジションに移動し、セットポジションでプレイを待ち受けている ----- ⑤アウト、セーフを適切な形とタイミングでコールしている ----- など、習得度が高い
	b	普通
	c	習得度が低い
2 塁盗塁	a	①適切なタイミングでボールから目を離し、ベースに正体してながらセットポジションをとり、ベースに焦点を合わせてプレイを待っている ----- ②アウト、セーフを適切な形とタイミングでコールしている ----- など、習得度が高い
	b	普通
	c	習得度が低い
打球判定・ランダウン (球審・3 塁塁審)	a	①球審は素早く3 塁・本塁の延長線上に移動して(3 塁塁審はその場でラインをまたぎ)、ラインの確保ができている ----- ②打球判定の範囲が理解できている ----- ③ランダウンが始まったら適切なポジションに移動し、走者の行動に合わせて行ったり来たりしていない ----- ④野手がタッグしようとしたら踏み込んでいき、タッグポイントを確認している ----- ⑤オン・ザ・タッグ、ノー・タッグ、ラインアウト、アウト、セーフなど、プレイに応じたジェスチャーやコールを適切なタイミングできている。 ----- など、習得度が高い
	b	普通
	c	習得度が低い

飛球判定 (1 塁塁審・3 塁塁審)	a	①打球が打たれたら、まずリードステップ (ポーズ) ができている ②野手 (相手方の審判員ではない) の動きを見て、自分の責任打球と判断する時間が適切である (リード) ③「ゴー・アウト」と大きく発声し、相手方の審判員をチラッと見ながら打球を追っている (リアクト) (打球を追わない場合は「OK」と応えている) ④野手が打球を捕る前に止まり、スタンディングで判定できている など、習得度が高い
	b	普通
	c	習得度が低い
2 人制メカニクス	a	①他のアンパイアの動きを確認し、声の連携ができている ②プレイを読んだ適切なポジショニング (角度・距離) ができていて、セットポジションでプレイを待ち受けている ③アウト、セーフを適切な形とタイミングでコールしている など、習得度が高い
	b	普通
	c	習得度が低い
本塁タッグプレイ	a	①スターティングポジションからプレイを読んだ適切なポジション (距離・角度) にすばやく移動し、止まって (スタンディング・シザースでかまわない) 判定している ②アウト・セーフを適切なタイミングでコールしている など、習得度が高い
	b	普通
	c	習得度が低い
キャンプゲーム	a	規則をよく理解していて、適切な処置ができるなど、習得度が高い
	b	普通
	c	習得度が低い

■ ジャッジの正確性

「a」と「b」はジャッジがおおむね正しいことが前提となる。

■ 各評価の点数

「a」：5点、「b」：3点、「c」：1点